

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	和賀川の清流を守る会負担金(事務局事務を含む)			
■評価事業コード	030200 - 109	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	01 豊かな自然環境の保全		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	河川の水質環境の保全及び河川敷等への不法投棄防止に寄与する。和賀川流域の北上市及び西和賀町2市町及び2市町内にある事業所等で構成する団体への負担金。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	和賀川の清流を守る会負担金(事務局事務を含む)	市民		負担金額70千円 ・河川パトロール及び清掃活動 2回開催(参加者:1回目71人、2回目62人) ・自然探索会 1回開催(参加者26人) ・親水美化活動(ボーイスカウト 等7団体参加) ・BOD値0.95mg/L(九年橋、目標 2.0mg/L以下) ・休廃止鉱山水質調査(5箇所) ・和賀川河川敷環境整備1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	76	80	81	85	
人件費	1,318	2,373	2,433	2,720	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,394	2,453	2,514	2,805	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	河川パトロール及び清掃活動の実施回数	2回	2回	2回	2回	6月と11月に実施。構成員(団体)及び協力団体(市民)からの参加人数は、2回の合計で94人(20より指標を変更)。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

02	自然探索会の実施回数	1回	1回	1回	1回	流域の自然との触れ合いや観察をとおり、自然保護の大切さを認識することが目的。広報により一般市民の参加者を募集。参加者16人E20より本指標を追加。
03	河川の水質を示す代表的指標のBOD値(日間平均値)	0.7mg/L	0.75mg/L	0.63mg/L	0.95mg/L	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

和賀川の水質環境の保全及び河川敷等への不法投棄防止に寄与している。

問題点・課題等

事業所の統合・廃止により加盟団体が減少している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

和賀川流域の市町及び事業所で構成し事業を取り組んでおり、河川の環境保全から継続が必要。